

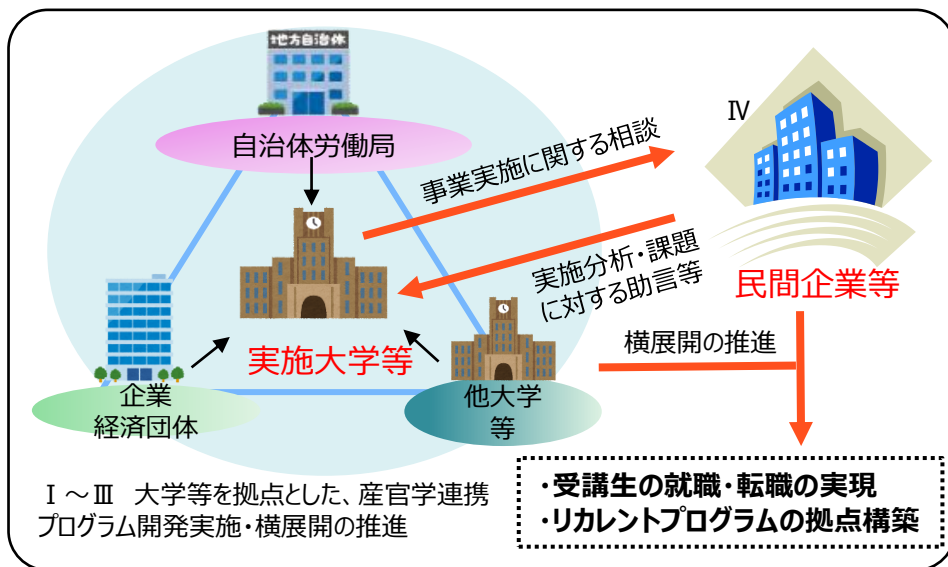
# DX等成長分野を中心とした就職・転職支援 のためのリカレント教育推進事業

文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課

## 目的・概要

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、就業者・失業者・非正規雇用労働者等に対し、デジタル・グリーン等成長分野を中心に就職・転職支援に向けた社会のニーズに合ったプログラムを実施する。
- 大学・専門学校等が労働局、企業等産業界と連携して教育プログラムを提供するとともに就職・転職等労働移動の支援も実施する。また、成長分野を中心に、就職に必要なリテラシーレベル、就業者のキャリアアップを目的としたリスキングに向けたプログラムを実施する。

## 事業イメージ



## スケジュール

- スケジュールについては、1月下旬ごろに財務当局と調整のうえ決定するが、年度内（3月中下旬）を目標に公募を開始する方向で検討している。

## 実施内容

### I. DX分野リテラシープログラムの開発・実施（大学・専門学校等）

【2,500万円×25拠点=6.3億円】

- ・主に失業者・非正規雇用労働者を対象とする。就職・転職に必要な基礎的なDX分野の能力を育成し、労働局、地元企業等産業界と連携し就職・転職に繋げるとともに厚生労働省の職業訓練受講給付金との連携も図る。また、近隣地域・大学等へ、開発したプログラムの横展開も図る。

### II. DX分野等リスキルプログラムの開発・実施（主に大学等）

【5,000万円×10拠点=5.0億円】

- ・主に就業者を対象とする。地元企業、リスキングに注力している企業と連携し、応用基礎的なDX分野の能力を育成しリスキングの推進、キャリアアップに繋げる。
- ・様々なタームに分けた柔軟な授業時間の設定、政府におけるデジタル人材育成の取組と連携しながら、社会に不足するデジタル人材を輩出する仕組みを構築。

### III. 重要分野のリカレントプログラムの開発・実施（大学・専門学校等）

（グリーン、医療・介護、地方創生、女性活躍、起業、イノベーション喚起等）

【1,500万円×25拠点=3.8億円】

- ・主に就業者・失業者・非正規雇用労働者を対象とする。各業界と連携し就職・転職に必要な基礎的・応用的な重要分野の能力を育成し、労働局と連携した就職・転職支援を行うとともに、厚生労働省の職業訓練受講給付金との連携も図る。また、近隣地域・大学等へ、開発したプログラムの横展開も図る。

### IV. プログラム実施・拠点構築の支援・分析、横展開に向けた取組

【5,000万円×1拠点（民間企業等）=0.5億円】

- ・プログラムの開発・実施、拠点構築に際する課題に対して助言等を行う機能を果たす。併せて、開発したプログラムの横展開を、教育機関と連携しながら推進する。

（本事業に関する問合せ先）  
syokugyou@mext.go.jp

# I .DX分野のリテラシープログラムで想定している主な要件

\*青字は他のコースとも共通事項あり、赤字は当該コースのみの要件

## (プログラムの実施体制)

- ①プログラムの開発・実施にあたり事業実施委員会を構成し、労働局や自治体、企業・業界団体等を構成員とする。
- ②事業終了後に継続的な活動が出来るよう、学内にリカレント教育担当部署を設置する（既存の担当部署でも可）。
- ③講師は学内教員に限らず地域や企業等の学外リソースを用いて、実践的なプログラム内容を提供すること。
- ④学内で雇用される教員がリカレント教育に関与する場合の、インセンティブ措置に関する整備の検討を行うこと。

## (プログラム内容)

- ⑤受講対象者は主に非正規雇用労働者や失業者とする。（ただし正規雇用状態にある者も受講可能）
- ⑥夜間・土日開講、短期集中開講、オンラインの活用等社会人の受講しやすい工夫に配慮すること。
- ⑦①の委員会を用いて、対象となる職業の種類、習得可能な能力を明確にし、受講によって考えうる就職・転職等の出口の可視化を行う。また、習得可能な能力については受講によって取得が可能になりうる資格の種類やITスキル標準（ITSS）等客観的なレベルを示すこと。
- ⑧修了後速やかに職場で活躍出来るよう、座学に加えて実習または現場実習、企業と連携したPBL等を行う。また、就業意識の涵養や、継続的な就業につなげるため、受講生に対してキャリアコンサルティングを行うとともに労働局・ハローワークと連携した就職支援を行うこと。
- ⑨プログラム修了者数、就職率、就職・就業率、企業での活用状況、受講生の評価等を目標とする。
- ⑩開発したプログラムを他の教育機関、自治体、企業等における活用を促進する。

## (職業訓練受講給付金との兼ね合い)

- ⑪厚生労働省の職業訓練受講給付金（以下、給付金）の対象プログラムとする場合の授業時間数は1か月あたり60時間以上、かつ期間は2か月以上6か月未満とする。また、給付金制度との連携の趣旨から受講料は無料とする。（原則対象プログラムとすることを推奨）
- ⑫給付金と連携しない場合はプログラムの総授業時間数は60時間以上とする。また、低廉な価格であれば費用の徴収は可能とする。

## Ⅱ.DX分野等のリスクプログラムで想定している主要要件

\*青字は他のコースとも共通事項あり、赤字は当該コースのみの要件

### (プログラムの実施体制)

- ①プログラムの開発・実施にあたり事業実施委員会を構成し、労働局や自治体、企業・業界団体等を構成員とする。
- ②事業終了後に継続的な活動が出来るよう、学内に担当理事・学部長等を中心としたリカレント教育担当部署を設置する（既存の担当部署でも可）。
- ③講師は学内教員に限らずDX分野について先進的な取り組みをしている企業等の学外リソースを用いて、実践的なプログラムを提供すること。
- ④学内で雇用される教員がリカレント教育に関与する場合のインセンティブ措置に関する整備を行うこと。

### (プログラム内容)

- ⑤受講対象者は主に就業者とする。（ただし失業者や非正規雇用労働者等も受講可能）
- ⑥夜間・土日開講、短期集中開講、オンラインの活用等社会人の受講しやすい工夫に配慮すること。
- ⑦①の委員会を用いて、対象となる職業の種類、習得可能な能力を明確にし、受講によって考えうる就職・転職等の出口の可視化を行う。また、習得可能な能力については受講によって取得が可能になりうる資格の種類やITスキル標準（ITSS）等客観的なレベルを示すこと。
- ⑧修了後速やかに職場で活躍出来るよう、先進的な取り組みをしている企業等とのPBLを中心に実践的なプログラムを提供する。
- ⑨開発したプログラムを他の教育機関、企業等における活用を促進する。（目標として、他大学・専門学校等への横展開を10程度（受講生（部分受講含む）は500名程度）、企業等への横展開を20程度（受講生（部分受講含む）は500名程度）。また、開発したプログラムのノウハウを他の教育機関等へ普及させ、優良プログラムの横展開を図る。
- ⑩60時間以上のプログラムを想定するが、受講者ニーズに柔軟に対応できるようターム式でのプログラムの提供も可能とする。
- ⑪受講料については、今後の自立自走も見据え、適正な価格であれば徴収可能とする。

## Ⅲ.重要分野のリカレントプログラムについて（グリーン、医療・介護、地方創生、女性活躍、起業等）

\*青字は他のコースとも共通事項あり、赤字は当該コースのみの要件

### （プログラムの実施体制）

- ①プログラムの開発・実施にあたり事業実施委員会を構成し、労働局や自治体、企業・業界団体等を構成員とする。
- ②事業終了後に継続的な活動が出来るよう、学内にリカレント教育担当部署を設置する（既存の担当部署でも可）。
- ③講師は学内教員に限らず地域や企業等の学外リソースを用いて、実践的なプログラム内容を提供すること。
- ④学内で雇用される教員がリカレント教育に関与する場合のインセンティブ措置に関する整備の検討を行うこと。

### （プログラム内容）

- ⑤受講対象者は就業者、非正規雇用労働者、失業者等プログラムの提供レベルに応じて設定する。
- ⑥夜間・土日開講、短期集中開講、オンラインの活用等社会人の受講しやすい工夫に配慮すること。
- ⑦①の委員会を用いて、対象となる職業の種類、習得可能な能力を明確にし、受講によって考えうる就職・転職等の出口の可視化を行う。また、習得可能な能力については受講によって取得が可能になりうる資格の種類や等客観的なレベルを示すこと。
- ⑧修了後速やかに職場で活躍出来るよう、座学に加えて実習または現場実習、企業と連携したPBL等を行う。また、就業意識の涵養や、継続的な就業につなげるため、受講生に対してキャリアコンサルティングを行うとともに労働局・ハローワークと連携した就職支援を行うこと。
- ⑨プログラム修了者数、就職率、就職・在職率、企業での活用状況、受講生の評価等を目標とする。
- ⑩開発したプログラムを他の教育機関、自治体、企業等における活用を促進する。

### （職業訓練受講給付金との兼ね合い）

- ⑪厚生労働省の職業訓練受講給付金（以下、給付金）の対象プログラムとする場合の授業時間数は1か月あたり60時間以上、かつ期間は2か月以上6か月未満とする。また、給付金制度との連携の趣旨から受講料は無料とする。（原則対象プログラムとすることを推奨）
- ⑫給付金と連携しない場合はプログラムの総授業時間数は60時間以上とする。また、低廉な価格であれば費用の徴収は可能とする。

# 採択プログラムの費用の考え方について

コース	分野	職業訓練受講 給付金対象	総授業時間数	定員(名)	単価(万円)
(Ⅰ)DX分野リテラシープログラムの開発・実施	DX	○	120時間以上 (月60時間:2~6月) (リテラシー)	30	3,500
	DX	×	60時間以上 (リテラシー)	30	1,200
(Ⅱ)DX分野等リスキリングを目的としたプログラムの 開発・実施	DX	—	60時間以上 <b>(リスキル)</b>	30	5,000
(Ⅲ)重要分野のリカレントプログラムの開発・実施	グリーン、 起業、 イノベーション 喚起	○	120時間以上 (月60時間:2~6月) (リテラシー)	30	3,000
		×	60時間以上 (リテラシー)	30	1,200
		×	60時間以上 <b>(リスキル)</b>	30	3,500
	その他の分野	○	120時間以上 (月60時間:2~6月) (リテラシー)	30	2,500
		×	60時間以上 (リテラシー)	30	1,000
		×	60時間以上 <b>(リスキル)</b>	30	1,200

\* 単価については、上記を基準としつつ、定員設定(+10名、△10名等)により、増減させる予定としている。

# 就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業

令和2年度第3次補正予算額 13億円

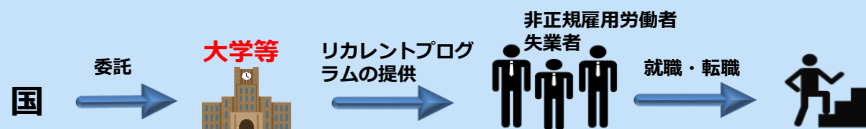
## 背景・必要性

新型コロナウイルス感染症の影響により、非正規雇用労働者等を中心に失業者が約209万人に拡大。解雇等見込み労働者数も約10万人。このため、文部科学省と厚生労働省、経済産業省が連携し、大学等において非正規雇用労働者や失業者等を対象に、デジタル人材等成長分野の人材育成から就職支援等を一体的に推進し、受講生のキャリアアップに繋げる。（人数は2020年11月時点）

## 事業内容・事業実施イメージ

非正規雇用労働者、失業者、希望する就職ができていない若者等の支援として、全国の大学等を中心とした連携体制において、即効性があり、かつ質の高いリカレントプログラムの発掘・開発を行い、オンラインと対面を組み合わせ集中的に提供する体制を整えることにより、全国のリカレント教育のニーズに応え、受講生の円滑な就職・転職を促す。

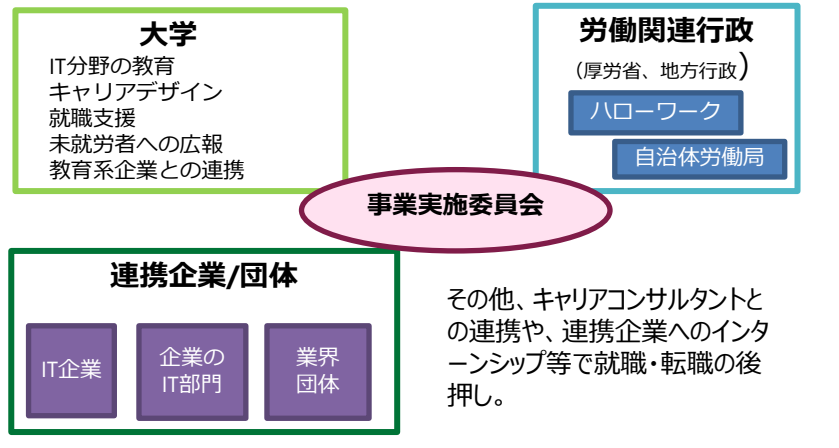
令和3年度事業実施大学：22都道府県・40大学・63プログラム  
（主な分野：デジタル、医療・介護、地方創生、女性活躍等）



## 本事業の文部科学省、厚生労働省、経済産業省の連携イメージ



## ・A大学「失業者向けITリカレント教育プログラム」



## 具体的な取組・スケジュール

### <具体的な取組>

実施大学等（国公立大学・短大、高専）が他大学、地方公共団体、企業、経済団体等と連携し、企業や地域の実情に応じたリカレントプログラムを開発・実施。また、ハローワーク等と連携した就職・転職支援を行い、DX分野、医療介護等、社会的にニーズが高まっている業種への就職・転職を実現する。

### <事業実施のスケジュール>

- ・令和3年 3月中旬～4月中旬：事業公募期間
- 6月中旬：採択決定・公開、大学等への通知
- 7月上旬～：プログラムの出願・順次プログラム開始
- ・令和4年 3月中旬：プログラムの成果の取りまとめ・報告

# 令和3年度採択実績に関して（採択数、分野、見込み受講者数等）

## 【採択実績】

○ 22都道府県、40大学、63プログラム（申請：41大学、66プログラム）

○ aコース：19件 bコース：31件 cコース：13件

aコース：失業者を主な対象とし、地域や企業等のニーズに応じたプログラムを開発し受講者の就職につなげるコース。厚生労働省の定める要件を満たす者は、職業訓練受講給付金の受給対象。  
プログラムの総時間数は1か月あたり60時間以上、実施期間は2か月以上6か月以内。

bコース：非正規雇用労働者、失業者等を主な対象とし、文部科学大臣が認定する職業実践力育成プログラム(BP)に相当する実践的・専門的なコース。プログラムの総時間数は60時間以上。

cコース：非正規雇用労働者、失業者等を主な対象とし、地域の実情に応じて、弾力的なプログラムの開発を可能としたコース。プログラムの総時間数は60時間程度

## 【採択分野（一部プログラムは分野が複数該当）】

○ DX（AI・IoT等）：24講座      ○ 地方創生：9講座      ○ 女性活躍：9講座

○ 医療・介護：8講座      ○ 起業：2講座      ○ その他：15講座

## 【見込み受講者数（各プログラムの定員数より推計）】

2,500名程度





## 青山学院大学

### 「女性向けのITリカレント教育プログラム ADPISA-F」

詳細・シラバス等は  
ここをクリック

#### 【プログラムの目的】

社会人女性を対象に、IT(情報技術)系の教育を実施するだけでなく、受講者が長い生涯における学びを自律的に継続できるようになることを目標とします。

#### 【プログラムの特徴】 (詳細右写真または、[ここをクリック](#))

- ・ ライフイベントで離職する人の割合が高く、コロナ禍でさらに苦境に立たされている女性を対象とします。
- ・ 日本のIT関連の産業構造が急速に変革し、あらゆる業種でIT人材の需要が高くなっている今、時代に求められている人材を育成します。
- ・ 持続可能な開発目標(SDGs)に対応します (右中図)。

#### 【具体的な取り組み】

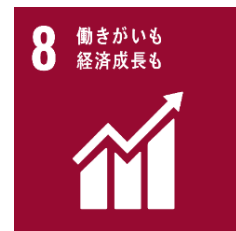
- ・ 産 (IT業界) 官 (労働局) 学 (青学大) が連携し、受講生募集からIT教育、就職まで一貫して支援します。
- ・ 単にIT系の基礎科目を教育するだけでなく、マインド醸成、ITの面白さ発見からキャリアプラン作成までを実施します (右下図)。
- ・ IT系業種又はユーザ系企業のIT職種への就職を支援します。就職・就業率80%以上を目標とします。

#### 【その他】

- ・ 受講期間は2021/10/11から3カ月間。受講定員は30名。
- ・ 全講義の80%をオンライン授業。一部、青山キャンパスで実施。
- ・ 要件を満たす場合は職業訓練受講給付金の対象。



<https://adpisa.si.aoyama.ac.jp/adpisa-f>



## 山口大学

### 「DX-Ready人材育成プログラム」

#### 【プログラムの目的】

いま、多くの企業から求められているデジタルトランスフォーメーション(DX)を担う人材を短期集中で育成する。

#### 【プログラムの特徴】

受講者全員にタブレットPCを配布し、オンライン講義と演習によってレベル1からレベル3まで段階的・実践的に教育を行う。

#### 【企業・産業界との連携】

教育プログラムの開発・実施にあたり、山口県内の企業および業界団体、DX先進企業と連携。

#### 【就職・転職支援に向けた取組】

山口労働局および県内ハローワークとの連携体制整備。また、求職者・転職希望者に対しては、専門家・専門企業による継続的な就職支援メンタリングを行い就職に結びつける。

#### 【想定する就職先】

山口県内外の製造業、観光・飲食業、その他、RPAによる業務効率向上、BPO（バックプロセスアウトソーシング）を推進しようとする企業

#### 【受講期間・定員・目標】

受講期間：4カ月

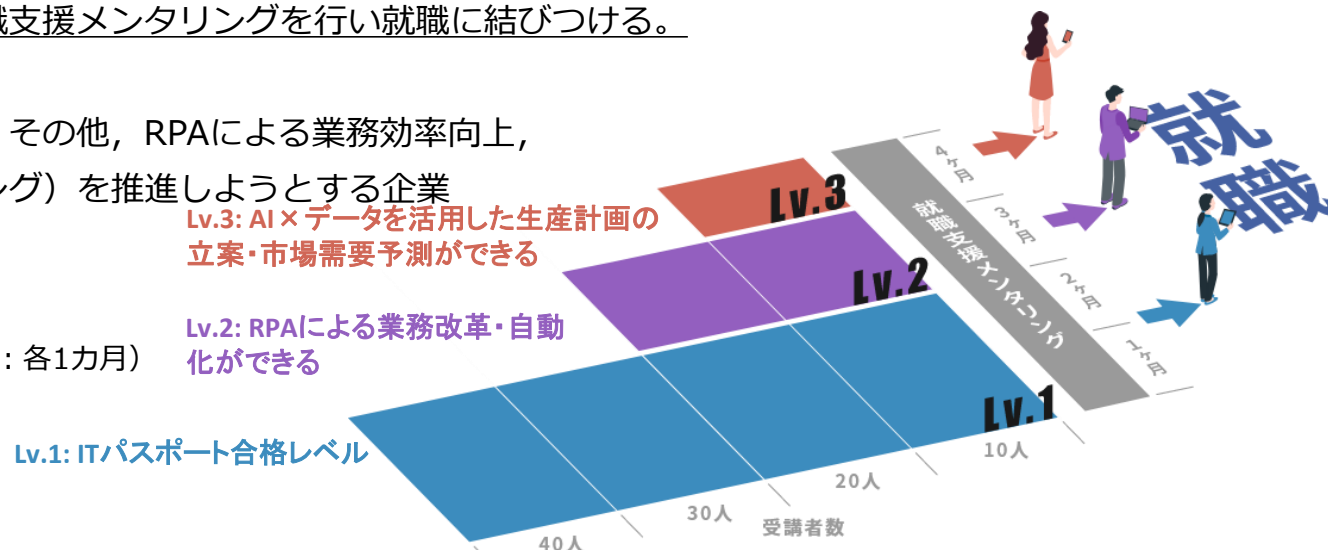
(レベル1：2カ月、レベル2, 3：各1カ月)

定員：40名

目標：就職・就業率67%以上

#### 【社会人の受講しやすい工夫】

オンライン授業を活用し、夜間または土日集中で教育を実施。要件を満たす受講者は職業訓練受講給付金の対象。



## 名古屋商科大学

### 「就職・起業・転職・復職支援のためのMBA入門プログラム」

#### プログラムの目的

新型コロナウイルス感染症の影響によって進展した雇用構造の転換の影響を受けて就職・転職・起業等の就職活動を行っている社会人および、出産や育児等で一時的にキャリアを中断し復職や再就職を目指す社会人の支援を目的とし、ビジネスに不可欠な基礎的な経営知識や実践力のリスキルにより、高度専門職業人材へのキャリアパスを提供する。

#### プログラムの特徴

3つの履修モデルを提示し、受講者が各々のニーズにあわせて履修モデルや授業科目の選択ができる履修形態とする。また、新型コロナウイルス感染症対策としてe-ラーニングシステムとテレビ会議システムを使用したケースメソッドによる同時双方向でのディスカッション中心の授業とし、キャリアコンサルティングも同様にテレビ会議システムを使用して実施する。

- ・ 就職・起業・転職・復職支援
- ・ グローバル人材育成支援
- ・ 女性キャリア支援



#### 想定する就職先

特定の業種によらず、管理職または事務職への就業が想定される。

#### 企業・産業界との連携

企業等の外部有識者ならびに専門職業人を委員として委嘱する「リカレント教育推進委員会」において、産業界からの意見を聴取し、地域ニーズ等を踏まえた上で教育課程の編成を検討する。

また、受講者ニーズを踏まえるべく、専門職業人にはキャリアコンサルタントも委員として委嘱する。

#### 就職・転職支援に向けた取組

地方公共団体やハローワーク、関連企業と連携して就職支援の体制を整えるとともに、キャリアコンサルティングによるキャリア形成支援・就職等支援を行う。

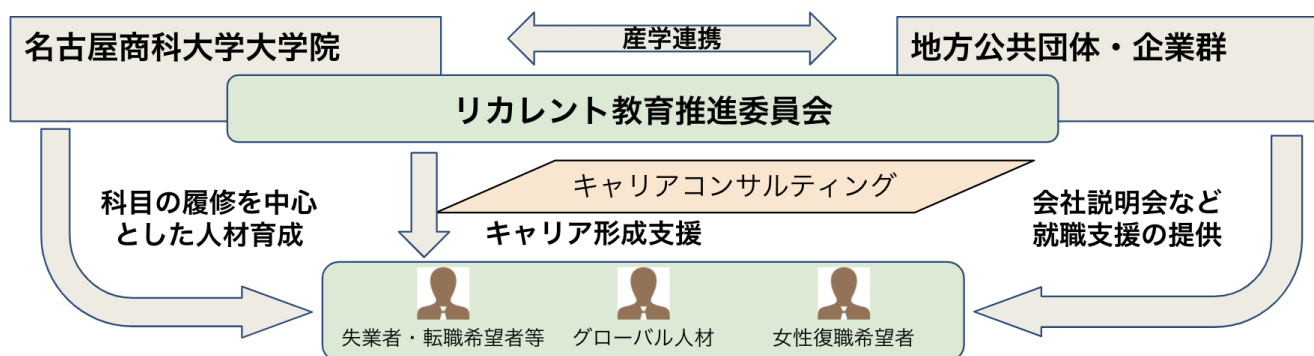
#### 受講期間・定員・目標

受講期間は最長6カ月間。

1科目あたり10名程度までを目安に受講者希望者を募る。

就職・就業率は85%を目指す。

#### 事業実施イメージ図



#### 社会人の受講しやすい工夫

本プログラムの授業は原則として週末（土日）に開講し、1科目が1週末2日間で完結する週末集中型である。

また、すべての授業がオンラインにて受講できるため、キャンパスへの通学が不要で特定の地域に限らず受講が可能である。

## マナパスに掲載している情報

- ・令和2年度よりサイトの本格運営を開始し、**1日あたりのPV数は3,000程度**。
- ・大学（学部・研究科等）の**マナパスに対する認知度は49.9%**と上昇中（令和2年12月時点）。
- ・Yahoo！バナー広告やテレビ番組、ラジオ番組等でも紹介！**マイページも9月30日に公開**。



### <講座検索>

大学・専門学校の社会人向けプログラムを中心に5,000程度の講座を掲載！！「オンライン」「費用支援」「取得資格」等希望に沿った条件検索も可能！！

### <特集ページ>

「地方創生」「就職氷河期」「経済的支援」「女性の学び」等社会的にホットなテーマと学びを掛け合わせて紹介！！



### <ランキング機能>

ビジネスや健康福祉、情報といった分野別のアクセスランキングを日々更新中！！

講座アクセスランキング

順位	講座名
1	リカレント教育課程 日本女子大学
2	政策創造研究科政策創造専攻修士課程 法政大学
3	選べたい英語 2020 (藤田義明提供) JMOC
4	熊登里山里海SDGsマイスタープログラム 帝京大学
5	近江職人地域再生学座 社会人コース 滋賀県立大学

6位～20位はこちら

### <動画紹介>

社会人の学びに対する教育界・産業界からのメッセージや、大学・専門学校の学習事例を紹介！！



### <学びのガイド機能>

検索タグで性別・年代、問題意識に合わせた学びのモデル検索（インタビュー）や実践的、経済的支援のあるプログラムの検索が可能！！

学びのモデルを見つけよう

在学生・修了生インタビューを  
読みたい方はこちら

実践的なプログラムから探そう

実際に直結するプログラムをお  
探したい方はこちら

学習者の支えとなる講座を探そう

奨学金や教育訓練給付金の対象  
のプログラムはこちら

最新のトピックから選ぼう

特集記事から関連する講座を探  
したい方はこちら

### <いいね機能>

ユーザーから関心の高い講座が一目でわかるように、「いいね機能」を搭載！！

講座・課程詳細

いいね！ 3

日本女子大学  
リカレント教育課程

詳細はこちらから  
※外部サイトへリンクします。

検索結果一覧に戻る

団体名	日本女子大学
課程名	リカレント教育課程
課程区分	履修証明プログラム

その他、初学者から既習者までマナパスの使い方がわかる「**目的別マナパス利用ガイド**」や就職氷河期支援ポータルサイト「**ゆきどけ荘**」、職業検索サイト「**日本版O-NET**」、**「巣ごもりDXステップ講座情報ナビ**」等、社会人に有益な情報を発信するサイトとも連携！！

# 「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」特設ページの開設(マナパス上)



## <マナパス上に事業の特設ページを開設>

★トップページにバナーを貼り、特設ページへ誘導。

★特設ページにおいては、各大学における講座情報(全63プログラム)を掲載し、一覧性を向上。  
今後、修了生の声や受講後のキャリアアップ事例も紹介予定。

トップ > 特集ページ > 「受講費無料! 就職・転職支援応援プログラム」特設ページ

## 「受講費無料! 就職・転職支援応援プログラム」特設ページ



本プログラムはコロナ禍における雇用情勢の中で、全国の大学が企業・経済団体・ハローワーク等と連携し、2か月から6か月程度の短期間で就職・転職に繋がるプログラムを受講費無料で提供しています。プログラムの種類も豊富で、基礎的なものから応用的なものまで全国で22都道府県、63プログラムを採択しています。

また、一部のプログラムでは、厚生労働省の求職者支援制度と連携して、職業訓練受講給付金を受給しながら学習することが可能です。さらにオンラインの活用等を通じて学習しやすい環境も整備しております。

学びを通じてご自身のキャリアアップ・キャリアチェンジに繋がってみませんか。

- 文部科学省「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」についてはこちら
- 厚生労働省「文部科学省事業「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」の申込について」のページはこちら

## 就職・転職支援プログラム一覧

最新の状態については、各講座URLにてご確認ください。

北海道	東北	東北
<b>小樽商科大学</b> 介護ミドルマネージャー育成プログラム  募集期間 2021年9月21日～2021年11月12日 実施期間 2021年10月18日～2022年2月4日 講座URL <a href="https://obs.otaru-uc.ac.jp/cmm_program/">https://obs.otaru-uc.ac.jp/cmm_program/</a>	<b>八戸学院大学</b> 自分アップデート! 社会福祉プログラム  募集期間 2021年9月～ 実施期間 2021年10月～2021年12月 講座URL 後日掲載予定	<b>八戸学院大学</b> 若者・女性活躍推進! リスタート支援プログラム  募集期間 2021年9月～ 実施期間 2021年10月～2021年12月 講座URL 後日掲載予定
首都圏	北関東・甲信越	北関東・甲信越
<b>筑波大学 (東京キャンパス)</b> ITスキルを身につけたい人のためのライフキャリア醸成・就職支援プログラム  募集期間 2021年8月10日～2021年9月6日 実施期間 2021年10月1日～2022年1月28日 講座URL <a href="http://www.human.tsukuba.ac.jp/counseling/info/t-oneלב_recurent/">http://www.human.tsukuba.ac.jp/counseling/info/t-oneלב_recurent/</a>	<b>筑波技術大学</b> 「聴覚障害者のための企業等就職志向プログラム」  募集期間 2021年8月下旬～2021年9月中旬 実施期間 2021年9月中旬～2022年2月上旬 講座URL <a href="https://www.tsukuba-tech.ac.jp/announcement/ntut_2021072101.html">https://www.tsukuba-tech.ac.jp/announcement/ntut_2021072101.html</a>	<b>筑波技術大学</b> 「「はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧」資格を活用する専門スキル向上プログラム」  募集期間 2021年8月下旬～2021年9月中旬 実施期間 2021年9月中旬～2022年2月上旬 講座URL <a href="https://www.tsukuba-tech.ac.jp/announcement/ent/ntut_2021072101.html">https://www.tsukuba-tech.ac.jp/announcement/ent/ntut_2021072101.html</a>
北関東・甲信越	北関東・甲信越	首都圏
<b>佐野日本大学短期大学</b> 「Word・Excel・データ分析」  募集期間 2021年7月1日～2021年8月6日 実施期間 2021年8月17日～2021年8月27日 講座URL 後日掲載予定	<b>高崎商科大学</b> TUCリカレント「実学Biz Learning」  募集期間 2021年7月12日～2021年8月4日(中途からの参加可) 実施期間 2021年8月～2021年12月 講座URL <a href="https://www.tuc.ac.jp/news/2021/210712_1578.html">https://www.tuc.ac.jp/news/2021/210712_1578.html</a>	<b>千葉大学</b> 地域医療 介護・医療 DX 人材育成プログラム  募集期間 2021年9月下旬～2021年10月下旬(予定) 実施期間 2021年11月上旬～2021年12月下旬(予定) 講座URL 後日掲載予定